

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第40回 LLW廃棄体等製作・管理分科会 (F9Ph2SC) 議事録

1. 日時 2017年5月16日 (火) 10:00~12:00

2. 場所 原子力安全推進協会 3,4会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 柳原主査, 武部副主査, 梅原幹事, 小畑, 柏木, 田中, 横田, 脇, 野口, 坂下
(10名)

(欠席委員) (0名)

(代理委員) 山井 (大浦代理), 天澤 (佐々木代理), 田中 (熊谷代理), 南波 (伊藤代理),
上野 (新津代理) (5名)

(常時参加者) 松本, 満田, 浦上, 小野, 北島 (5名)

(欠席常時参加者) 井上, 中山, 木原, 宝珍, 手塚 (4名)

(オブザーバー) 森山, 岡田 (2名)

4. 配付資料

F9Ph2SC40-1 第39回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会議事録案

F9Ph2SC40-1 人事について

F9Ph2SC40-3-1 第69回原子燃料サイクル専門部会議事録

F9Ph2SC40-3-2 誤記内容検討結果の正誤表に関して

F9Ph2SC40-4-1 「トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査方法:2010
(AESJ-SC-F021:2010)」の誤記等内容検討結果(再検討結果)について

F9Ph2SC40-4-2 別紙1 「トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査方法:2010
(AESJ-SC-F021:2010)」の誤記内容確認結果(再検討結果)

F9Ph2SC40-4-3 別紙2 「トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査方法:2010
(AESJ-SC-F021:2010)」正誤表(案)(再検討結果)

F9Ph2SC40-5-1 「余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法:2015(AESJ-SC-F014:2015)」の
誤記等内容検討結果(再検討)について

F9Ph2SC40-5-2 別紙1 「余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法:2015
(AESJ-SC-F014:2015)」の誤記内容確認結果(再検討結果)

F9Ph2SC40-5-3 別紙2 「余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法:2015
(AESJ-SC-F014:2015)」正誤表(案)(再検討結果)

F9Ph2SC40-6 「LLW廃棄体等製作・管理分科会」の予定案

5. 議事

(1) 出席委員の確認

柳原主査から、開始時に代理の出席を含め 15 名の委員の出席があり、分科会成立に必要な委員数 (10 名以上) を満足している旨の報告が行われた。

(2) 人事について(F9Ph2SC40-2)

資料に基づき、都筑委員の退任の連絡、及び後任として梅原委員の選任に関する提案があり、審議の結果、新委員の選任については承認された。また、柳原主査より梅原委員が幹事に指名された。

(3) 前回議事録(案)の確認(F9Ph2SC40-1)

梅原幹事から、第 39 回 LLW 廃棄物等製作・管理分科会の議事録(案)が紹介され、承認された。

(4) 第 69 回原子燃料サイクル専門部会議事録(F9Ph2SC40-3-1)

梅原幹事から、第 69 回原子燃料サイクル専門部会議事録が紹介され、当該専門部会のコメントにより、正誤表に記載すべき項目の分類等を再検討する必要性が生じたため、その再検討結果を本日の分科会で審議する旨の説明があった。

(5) 誤記内容検討結果の正誤表に関して(F9Ph2SC40-3-2)

梅原幹事より、上記専門部会のコメント対応として、誤記チェックタスク幹事会で協議した結論について、方向性として、正誤表は誤記のみ記載し、引用条文の変更等は標準の改定で対応することになったのとの説明があった。

(6) 「トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査方法:2010(AESJ-SC-F021:2010)」の誤記等内容再検討結果について(F9Ph2SC40-4-1~4-3)

田中委員より資料 F9Ph2SC40-4-1~4-3 を用い、本分科会が発行している標準「トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査方法:2010(AESJ-SC-F021:2010)」について各委員の誤記チェック検討結果、及び専門部会・標準委員会報告用の誤記等内容検討結果について、誤記内容確認結果、正誤表の説明があった。

これらの誤記チェック検討結果等に関し、各委員から次のコメントがあり、コメントを反映することで専門部会報告が了解された。

(コメント)

・F9Ph2SC40-4-2

1 ページの No. 3 “又は” の記載は “さらに” に修正する。

2 ページの No. 10 「正」の欄の記載に “第六条及び第八条” を追記する。

3 ページの No. 19 読点の形式 “,” または “、” については学会標準の書式を確認する。

(7) 「余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法:2015(AESJ-SC-F014:2015)」の誤記等内容再検討結果について (F9Ph2SC40-5-1～5-3)

柏木委員より資料 F9Ph2SC40-5-1～5-3 を用い、本分科会が発行している標準「余裕深度処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法:2015(AESJ-SC-F014:2015)」について各委員の誤記チェック検討結果、及び専門部会・標準委員会報告用の誤記等内容検討結果について、誤記内容確認結果、正誤表の説明があった。

これらの誤記チェック検討結果等に関し、各委員から次のコメントがあり、コメントを反映することで専門部会報告が了解された。

(コメント)

・資料全般

修正箇所の書式は、赤字プラスアンダーラインに統一する。

法令等を引用する以外は、「放射エネルギー」の記載から「量」をとり、「放射能」に統一する。

「など」と「等」の使い分けが正しいか再確認する。

・F9Ph2SC40-5-2

1 ページの No. 1 「正」の欄の文末は、「水和水などを除く」に修正する。

4 ページの No. 52 「正」の欄の記載「きず」は「きずがない」に修正する。また、コメントは表に対してのものであり、修正箇所のみでは内容が判り難い面があるため、資料の最終ページに参考として、正誤表全体を添付することとした。

・F9Ph2SC39-5-3

2 ページ

附属書O No.1 の 「アンダーカット」の「ツ」の表記については小文字に訂正すること。(別途、標準の記載を確認したところ、小文字となっており、修正は不要)

(8) 分科会等の今後の予定について

梅原幹事より F9Ph2SC40-6 を用い、今後の分科会予定案の説明があった。

次回分科会は 7 月頃を予定とする。なお、2つの標準の誤記確認結果等に関し、専門部会のコメントが無かった場合は、開催しないこととした。

以 上